

説明資料: 「カスティーリャ・イ・リオン週間」

カスティーリャ・イ・リオンについて

カスティーリャ・イ・リオンは、アビラ、ブルゴス、レオン、バレンシア、サラマンカ、セゴビア、ソリア、バリアドリード、サモラの 9 県によって形成される自治州です。スペインの首都マドリードから約 1 時間半の距離に位置し、「サンティアゴの巡礼路」、「ブルゴスの大聖堂」、「アタプエルカの考古学遺跡群」、「ラス・メドゥラス自然公園」、「アビラの町」、「サラマンカ(大学の町)」、「セゴビア」の 7 つのユネスコ世界遺産があります。

カスティーリャ・イ・リオンではまた、質の高い多様な農産物が生産されます。特に、肉類(アビレーニャ種やモルーチャ種の牛肉、チューラ種の仔羊、仔豚)、腸詰類(ギフエロのハモン、リオンやポティーリョ・デル・ピエルソのセシーナ)、チーズ(サモラ、バルデオ)、豆類(エル・パルコ・デアビラの白インゲン、アルムーニャのレンズ豆)、野菜と果物(レイネタ種のリンゴ、ピエルソ地方の赤ピーマン)等が知られています。同州には 5 つのワインの原産地(リベラ・デル・ドウエロ、ルエダ、トロ、ピエルソ、シガレス)があり、国際的に高い評価を得ています。

文化や歴史、豊かな自然に恵まれたカスティーリャ・イ・リオンは、学会やコンベンションなどの会場にも適します。近年の都市開発や経済発展により、州内 9 県は学会や国際会議の会場として国内上位の需要を誇ります。

ラ・トゥナについて

ラ・トゥナは、大学生によって形成される弾き語り楽団です。約 790 年前から存在し、学費を補うためにスペイン民謡を歌ってチップを稼ぎます。弦楽器(ギター、ギターより小さい 12 弦楽器のバンドゥリア、バンドゥリアより少し大きいリュート)を使い、パソドブレ(闘牛士のための曲)、パサカージェス(テンポの早い行進曲)やロマンセ(求愛の曲)等を演奏します。